

【活動報告】VOLAS 特別講座《VolaSpecial》を行いました

VOLAS では、社会連携マネジメント・オフィスと共催で、NGO/NPO の関係者をゲスト講師としてお招きし、12 月に 3 回の特別講座を実施しました。

< 第 1 回 12 月 4 日(火)5 限(16:00~17:30) >

テーマ:ルワンダで義足を作る

ゲスト:ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト

ルダシングワ真美さん、ガテラ・ルダシングワ・エマニュ

エルさん

<http://www.onelove-project.info/index.html>

参加者:12 名

1994 年に大虐殺の悲劇が起きたルワンダで、その3 年後に義肢製作所を立ち上げ、手足を失った人々に義肢装具を提供するとともに、現地の障害者を技術者として育て、パラリンピックにルワンダ選手を送り出した活動について、お話を伺いました。講座終了後も約半数の学生が残って、熱心に質問をしていました。



< 第 2 回 12 月 10 日(月)5 限(16:00~17:30) >

テーマ:外国につながる子どもたちと

ゲスト:ピナット(外国人支援ともだちネット)スタッフ 木部 紫さん

<http://pinatmitaka.wixsite.com/pinat>

参加者:3 名

三鷹市で、外国につながる子どもたちの学習支援、外国人の母親のための「ママ友カフェ」などを行っている団体の活動について、お話を伺いました。日本で生まれ育ち、一見、何の問題もなく日本語を話しているように見えても、親が日本語を十分に理解できないことから、抽象的な概念を日本語で表す能力が身につかないなど、「外国につながる子どもたち」の課題と必要とされる支援について、

具体的なお話を聞くことができました。外大のサークル活動などで、日本語学習支援活動をしていた学生やコミュニティ通訳を学んでいる学生も参加し、いろいろな質問が出て、中身の濃い学習会となりました。



<第3回 12月17日(月)5限(16:00~17:30)>

テーマ:初めてのバリアフリー・シアター(映画館)をつくる

ゲスト:バリアフリー映画鑑賞推進団体 City Rights 平塚千穂子さん

<http://www.citylights01.org/>

参加者:6名

視覚障害者、聴覚障害者、車イスの人、子育て中のお母さんなど、誰もが映画を楽しむことができるよう、イヤホン音声ガイドや字幕付き上映を常時行う、日本初のユニバーサルシアター「シネマ・チュプキ・タバタ」を立ち上げた平塚さんに、写真を見せていただきながら、映画館の完成までのお話や現在の活動の様子について伺いました。目を閉じて、「音声ガイド」のない映像とある映像の音声を聞き比べ、音声ガイドの効果を実感したりして、とても興味深い体験もできました。



日時: 2018年12月26日